

畜産 FAX 情報 第 8 号

令和 6 年 9 月 1 日

発行：ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1. 過熟のとうもろこしに注意！

昨年は高温の影響で登熟がかなり早く、過熟の状態での収穫するほ場が多くありました。過熟の状態での収穫すると子実のデンプンが消化・利用しにくいものに変化してしまうほか、茎葉の枯れあがりにより踏圧がかかりにくくサイレージの不良発酵を招く恐れがあります。本年も昨年同様気温が高く推移しているため、ほ場を確認し、過熟になる前に収穫しましょう。

2. サイレージ用とうもろこしの破碎処理

サイレージ用とうもろこしの破碎処理の目安は以下の通りです。クラッシャーのかかり具合は使用する機械によっても異なります。①コブ（子実の芯）が 8 分の 1 程度に潰れ、②子実が完全に割れていれば破碎されています。とうもろこしを確認し、ローラー幅や切断長の調整を行いましょう。

○破碎処理の目安○

<コーンクラッシャーなしの場合>

- ・黄熟期：10 mm 前後
- ・過熟やすす紋病が多く発生したほ場：設定切断長 6 ～ 8 mm

<コーンクラッシャー付きの場合>

- ・黄熟期：切断長 14 mm ～ 19 mm ローラー幅：5 mm
- ・過熟やすす紋病が多く発生したほ場：設定切断長 14 ～ 19 mm
ローラー幅 3 mm